

公表	児童発達支援事業所における自己評価結果
----	---------------------

事業所名	こどもサポート教室 オレンジ					公表日	令和8年 3月 2日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	限りあるスペースで事故や怪我が起こらないように工夫しております。怪我のもととなるものは事務所に収納しております。	個別での対応をしている際にメインの支援室の様子が死角となってしまうため従業員の十分な配置がない日には個別での支援が難しい	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	非常勤職員の勤務もあり十分な配置の元運営出来るように体制を整えてまいります。低年齢のお子様もいることから十分に安全に配慮して支援できるようにいたします。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	お子様にとって安心できるように生活空間をわけております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	営業前、営業後に清掃活動を行いお子様や保護者、従業員にとって清潔で快適な空間となるよう心掛けています。	空調関係の定期的な清掃を取り入れる必要がある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	必要に応じて個別の部屋や静かな部屋を確保しお子様のプライバシーやクールダウンの際にも使える環境を準備しています。	個別スペースの利用状況を把握し、適切な使用が実施できるように心掛けています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	日々の振り返りからPDCAサイクルを回しながら支援プログラムの向上を図っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	保護者からいただいた意見をもとに会議に手検し、今後のこどもサポート教室オレンジの運営に反映しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	定期的な意見交換の場を設けるだけでなく職員間で意見交換がしやすいように関係を構築することに力を入れています。	具体的な改善策に繋がるようにフォローアップ体制を整備していきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	第三者評価は行っておりません。	必要に応じて実施を検討いたします。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	マニュアルを作成し社内でも定期的に研修を行っています。	必要に応じて外部研修等の参加も検討いたします。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	開所当初から支援プログラムをホームページ上で公開しています。	ホームページ上で公開しており、日々職員で話し合い支援プログラムに沿った関わりを心掛けています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0		アセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	ミーティングを行い現場職員の意見を児童発達支援計画に反映していただいています。	定期的に児童の様子を振り返る機会を作り、支援の質を高められるようにしています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	職員全員がいつでも見られるようにしており、計画が現場の支援に反映されています。	常勤職員、非常勤職員問わず全員が定期的に計画に目を通すように伝えていきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	パソコンやスマートフォンを使ったツールを使用しアセスメントに用いています。	契約時に説明し保護者にとっても伝わりやすいツールを使用しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	担当は分けているが、それぞれの資格や経歴を活かし活動内容を設定しています。	一人に負担がかからないように業務負担を分散し活動内容を設定しています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	月ごとに活動スケジュールを決め、内容やねらいが固定化しないようにしています。	それぞれがもっている資格や経歴を活かして設定し、児童がさまざまな経験が出来るように工夫しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	保護者からのニーズに合わせ個別活動も行っています。	契約時に個別活動、集団活動の内容を保護者とお話しし、ねらいを持って支援を行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	毎朝ミーティングを行い、前日までの情報共有の場としています。	毎朝のミーティングでその日の流れを共有し役割分担を細かく話し合っていて決めています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	基本は行っているが送迎が遅くなってしまった日は出来ていない。	送迎や面談等があり振り返れなかった場合は翌日に前日分も含めて行うようになっている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	日々記録をとり、職員間で情報共有している。また保護者にもその日の様子としてお伝えしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	6カ月に1度以上は必ず面談を行い保護者の声に耳を傾けるようにしている。	モニタリングでは現場職員の声をまとめて保護者にお伝えし次の支援へと繋げていきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	担当は決めているが、意見を集約して行うようにし関係機関と関係を築くようにしている。	児童発達支援管理責任者や管理者も含めて担当者を決めているが他の職員の意見が反映されるような仕組みをつくっている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2		利用している児童が通う園はもちろんのこと周辺の機関にも定期的に時間を設けて情報共有している。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	利用者の送迎に行っている園では定期的に面談の時間を作り支援内容の共有を図っています。	保護者からだけでなく園での様子や困りごとを聞き取りした後支援へと繋がるよう工夫しております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	児童の性格や特性を保護者の同意のもと情報共有しています。	保護者からの要望があれば進学先に事業所での様子とこだわりや特性の共有を図っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	5	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3	現在は行っておりません。	必要に応じて実施を検討いたします。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	利用する児童の園と関係性を築いたり、使用するフットサルコートで地域の子どもたちと挨拶する機会はある。	行事やイベントとしては活動する機会がないので必要に応じて実施いたします。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	事業所での様子として連絡帳アプリを使って伝え関係性を築いています。	その日の様子だけでなく送迎時にも支援方針を話し共通理解がもてる機会を作っています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	家族参加のイベントは行っておりません。	保護者からの要望に応じて行っていきます。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	3	契約時に管理者から行っています。	初めて利用される方にもわかりやすい説明ができるよう心掛けています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		6カ月に1度のモニタリングの機会でも子どもやご家族の意向を確認する場としています。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	支援計画をもとに説明し同意を得ています。	児童発達支援管理責任者が対面で支援内容の説明を行い同意を得ています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		電話や連絡ツールを使い保護者から依頼があれば早急に対応しています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	現在は行っておりません。	必要に応じて実施を検討いたします。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		電話や連絡ツールを使い保護者から依頼があれば迅速かつ適切に対応しています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	ホームページやブログ機能を使い活動の様子を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報の取り扱いには十分に気を付けています。	個人情報が記載された書類は鍵付きロッカーで保管しています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1	いま現在は意思疎通が難しい保護者の方とやり取りする機会はありません。	現在の利用者の方はいらっしゃらないが、意思疎通が難しい方が問い合わせがあれば適切に対応できるよう準備しております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	地域住民と関わる機会はほとんどない。	フットサルコートなど外出した時に挨拶を行う程度なので、会を設けて実施していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各種マニュアルは定期的に確認するようにしています。	契約時に保護者に説明し更新されればその都度周知するようにしています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	年に2回以上地震や火災などさまざまな災害を想定して避難訓練を行っています。	利用曜日によっては参加できない児童もいるので、全員が参加できるように予定の設定をしていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		契約時に聞き取りと書面で保護者に確認をとるようにしています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	契約時にフェイスシートで確認しアレルギー児には細心の注意を払っています。	アレルギー児がいる時には細心の注意をすると共に万が一誤飲誤食があった場合の対処法もマニュアル化しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	開所時に作成し定期的に研修や訓練が行われています。	研修や訓練で出た反省点や改善点を考慮し次の訓練へと繋げていっています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	契約時に保護者にお伝えしています。	契約時に保護者にお伝えし安全保障について連携を図れるよう周知しています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハット事項が起きた場合には会議で話し合いの場をつくり、再発防止に取り組んでいます。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	所属する職員が外部の研修を受講し資料をもとに全職員で共有するような仕組み作りをしている。	外部、内部の研修を充実させ虐待防止の認識を高めています。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	契約時に保護者にお伝えし同意を得ています。	契約時に身体拘束について丁寧に説明しご納得された上で同意いただいています。	